



感染予防は思いやり Do your part

一人一人ができることを それぞれのクラスで・・・
やる気・笑顔・感謝！西中！みんなで乗り越えよう！！

環境省・厚生労働省より

熱中症予防 × コロナ感染防止

「新しい生活様式」で健康に！

「新しい生活様式」とは、新型コロナウイルス感染防止の3つの基本を取り入れた生活のことです。
①ソーシャルディスタンスをとって3密をさける ②マスク ③石けん手洗い

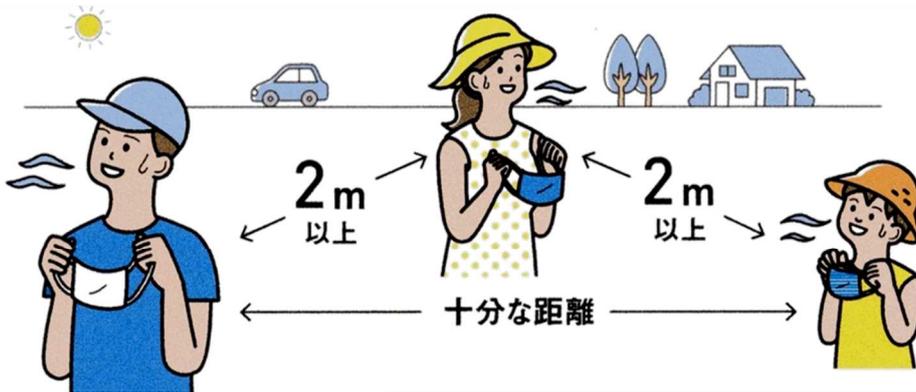
注意 マスクをすることで、熱中症の心配が！

マスクをすると、皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかぬうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。暑さを避け、水分をとるなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

熱中症を防ぐために

ウイルス感染対策は忘れずに！

マスクをはずしまじょう



屋外で

人と2m以上

(十分な距離)

離れている時

マスクをしていると熱中症になりそう

マスク着用時は

大きい水筒を持って来る

激しい運動は避けましょう

のどが渴いていなくても
こまめに水分補給をしましょう

気流は

特に注意しましょう

エアコンの使用中也こまめな換気をしましょう窓側とドア側の2カ所を開けて密閉を防ぐ

給食の時の正しいマスクのあつかい方

「いただきます」→ ゴム部分を持ってはずす → 給食袋に入れる → 給食用ハンカチ
マスク本体にはさわらない 机の上には置かない で咳エチケット



あなたのクラスはできているかな???

片耳をはずして水分補給

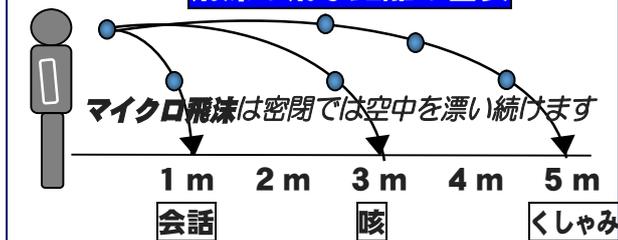


衛生習慣の確認

- ・毎日洗ったハンカチ
- ・毎日洗った給食用ハンカチ
- ・毎日洗ったランチマット
- ・ティッシュ ・つめ切りサンデー

水曜日に保健委員が衛生検査をしています♥

飛沫の飛ぶ距離の目安



濃厚接触者の定義から私たちが学ぶこと

「濃厚接触者」とは、保健所が健康観察の対象とする人のこと

濃厚接触者の新しい定義

「感染するかもしれない期間」に次の条件で接触

距離が1m以内 + マスクなし + 15分以上の会話

「感染するかもしれない期間」の考え方



症状が出た日の
2日前



症状が出た日



隔離開始日

「濃厚接触者」の定義が、新たに「患者さんがコロナが疑われる症状を示した日の2日前から、患者さんとの距離が1m以内で、マスクなどで口元が覆われていない状態で15分以上会話した人」と変わりました。言い換えると、「1m以内」「マスクなし」「15分以上会話」した相手が、2日以内にコロナの症状を示したら…あなたも濃厚接触者です。

感染するかもしれない期間に患者さんと濃厚接触した人は、最後に患者さんに接触した日から14日間は、健康観察期間（保健所の指示に従って対応し、健康状態を報告する期間）となります。この変更によって、濃厚接触者の範囲が広がることになりました。あなたも「濃厚接触者」になる可能性があります！ここで **もう一度気を引きしめて**、「新しい生活様式」を身につけましょう。

保護者の皆様へ

子供の感染事例は多くは家庭内での感染とされています。学校内での感染拡大を防ぐためには何よりも外からウイルスを持ち込まないことが重要で、このためには各家庭の協力が不可欠です。

学校では、生徒は登校したらすぐに、①アルコール手指消毒をする。②「体調チェック表」（生活ノート「STEP」に添付）を担任に提出し確認してもらう。①②により、外からウイルスを持ち込まないよう努めています。つきましては、学校と家庭の連携が学校内での感染拡大防止のため重要ですので、別添の資料『新型コロナウイルス感染症対策～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組～』の実践のご協力をよろしくお願いします。